

# アロプリノールの末梢動脈疾患 に対する保護的作用について

痛風・高尿酸血症治療薬のアロプリノールが末梢動脈疾患（PAD）に対して保護的に作用することを示すデータが、米国のグループにより医学誌 *Rheumatology* に発表されました。



アロプリノールの使用は全体〔ハザード比(HR) 0.88〕および女性(同 0.84)の末梢動脈疾患発症リスク低下と関係していました。

別の研究でも、アロプリノールの長期使用による末梢動脈疾患発症リスクの有意な低下が観察され、HRは181日~2年使用で0.88、2年を超える使用で0.75でありました。

